

# 稲作情報 第7号

令和6年7月

黒部市  
黒部市農業技術会議

コシヒカリの生育は、草丈はやや長めであるものの、その他は平年並となっています。今後は生育状況や気象等に留意して、穂肥施用や病虫害防除を的確に行いましょう。

## 1 コシヒカリの穂肥 ～生育状況を見て慎重に施用～

### 【基肥一発体系の場合（平地、5月中旬植え）】

- (1) 今年は7～8月の気温が高めとなる予報が出ていることから、葉色が薄い場合は、追加穂肥を施用しましょう。また、追加穂肥に備えて肥料を準備しておきましょう。

**【追加穂肥の目安】**  
出穂期の7～10日前(穂ばらみ期)の葉色が4.2未満(壤土は、4.0未満)の場合

直ちに施用!!

追肥3号で  
5～7 kg/10a

※遅くとも出穂期の3日前(走り穂)までに施用する

### 【分施体系の場合（平地、5月中旬植え）】

| 時期                   | 幼穂長   | 草丈     | 葉色  | 肥料名および施用量           |
|----------------------|-------|--------|-----|---------------------|
| 出穂期の15日前<br>(7月19日頃) | 1.5cm | 82cm以下 | 3.8 | LP追肥38号<br>15kg/10a |

※中山間地域や5月中旬以外の田植えの場合は、施用時期が異なります。

- (1) ほ場によって生育の進み方が違いますので、**幼穂長(1.5cm)**を必ず確認して、施用しましょう。

幼穂長1.5cmを確認する



- (2) 穂肥施用時に草丈が長い(82cm以上)場合や、葉色が濃い(3.8以上)場合は、施用を**3日程度遅らせ**ましょう。

株の中で一番長い草丈の茎を根元から抜き取る。ほ場毎に5株程度で幼穂の長さを確認する。

## 2 出穂期までの水管理 ～適正な葉色へ誘導する～

幼穂形成期以降、出穂期までは、**飽水管理**(足跡に水が残る程度)を行い、水田が乾き過ぎにならないように注意しましょう。また、ほ場に水をためた状態にせず、水の交換をこまめに行ってください。

熱中症予防のため、こまめな水分補給を行い、体調管理に注意しましょう。

## 3 病虫害防除

近年になく、雑草地の斑点米カメムシ類が多いため、県下で**カメムシ注意報が発令されました**。斑点米の被害を防ぐには、適切な畦畔雑草の管理、品種や生育に応じた**適期防除**が必要です。出穂の早い早生品種や雑草地周辺のは場は、カメムシ類が多くなる場合があるので、**必ず3回防除**を行ってください。なお、散布間隔は7日間を目安とし、10日以上あけないでください。

### 【基本防除の目安】

#### ○ 粉剤または液剤の場合

| 剤型 | 時期  | 使用農薬                | 散布量/10a<br>(希釈水量/10a)     | 使用基準<br>(収穫前日数) |
|----|-----|---------------------|---------------------------|-----------------|
| 粉剤 | 穂揃期 | ビームモンカットスタークルF粉剤5DL | 4kg                       | 14日前まで          |
|    | 傾穂期 | キラップ粉剤DL            | 4kg                       | 14日前まで          |
|    | 多発時 | トレボン粉剤DL            | 4kg                       | 7日前まで           |
| 液剤 | 穂揃期 | ビームエイトスタークルソル       | 薬量 150 ml<br>(希釈水量 150 l) | 7日前まで           |
|    |     | モンカットフロアブル          |                           | 14日前まで          |
|    | 傾穂期 | キラップフロアブル           | 薬量 150 ml<br>(希釈水量 150 l) | 14日前まで          |
|    | 多発時 | エクシードフロアブル          | 薬量 75 ml<br>(希釈水量 150 l)  | 7日前まで           |

- ・風向きと風力、散布量等に注意し周辺の作物や住宅地等への飛散防止に努めましょう。
- ・農薬は基準量を守って使用し、栽培履歴をしっかりと記録しましょう。

#### ○ 粒剤の場合

| 防除時期  | 品種 | 使用農薬      | 散布量/10a | 使用基準<br>(収穫前日数) |
|-------|----|-----------|---------|-----------------|
| 穂ばらみ期 | 中生 | フジワンラップ粒剤 | 3kg     | 30日前まで          |

- ・出穂10日前までに散布する。散布に当たっては、水深3～5cm程度の湛水状態で均一に散布し、散布後少なくとも4～5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水しない。
- ※カメムシ類の多発条件や水持ちの悪いほ場は、効果不足が懸念されるため使用を控えるか、粉剤または液剤を使用し、追加防除を行ってください。
- ※粒剤は残効性による、残留農薬防止のため収穫前日数を厳守して散布してください。

### 【随時防除】

紋枯病の発生がみられる場合、穂ばらみ期(出穂10日前頃)に防除しましょう。

| 剤型 | 使用農薬      | 散布量/10a<br>(希釈水量/10a)     | 使用基準<br>(収穫前日数) |
|----|-----------|---------------------------|-----------------|
| 粉剤 | モンセレン粉剤DL | 4kg                       | 21日前まで          |
| 液剤 | バリダシン液剤   | 薬量 150 ml<br>(希釈水量 150 l) | 14日前まで          |